

# 令和7年度上半期財政の状況

7年度上半期(令和7年4月1日～9月30日)の歳入・歳出予算の執行状況などをお知らせします。  
市の会計は、一般会計、特別会計、企業会計に分かれています。数値はすべて7年9月30日現在のものです。

## 一般会計

### ○積立基金(貯金)、市債(借金)、市有財産

一般会計は、市税を主な財源とし、福祉、教育、小・中学校や公共施設の維持・管理、道路整備、ごみ処理など、行政を運営する経費の大部分を賄う会計です。

	現在高
一般財政調整基金	92億1234万円
会計特定目的基金	101億4238万円
特別会計	11億8657万円
合計	205億4129万円

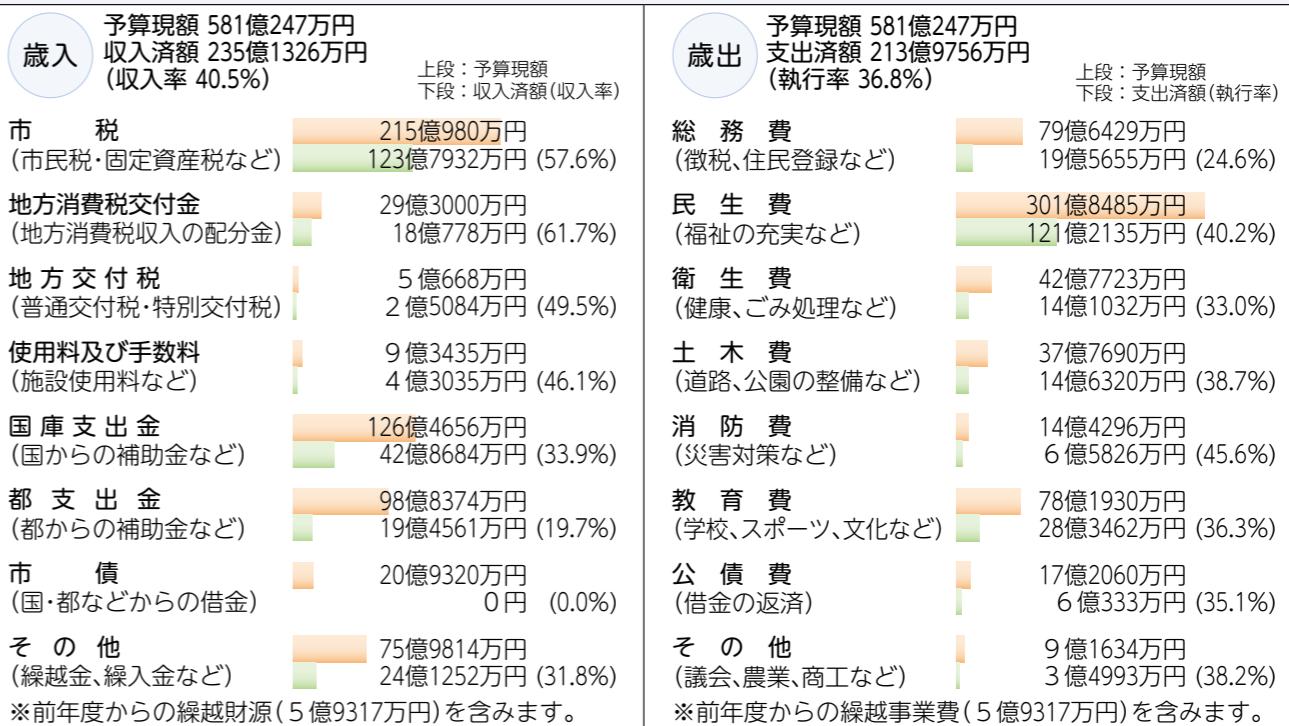
※財政調整基金＝財源の不足に備えるための基金(家計でいう貯金など)  
※特定目的基金＝公共施設整備など特定の目的のための基金(家計でいう住宅購入資金積立など)

### 表2 市債(借金)

	現在高(元金の残高)
建設事業債	79億1497万円
一般会計災害復旧債	3123万円
特例地方債	69億5525万円
特別会計	8億1000万円
合計	157億1145万円

※建設事業債＝学校、道路、公園などの公共施設の整備・改修のための借入金  
※災害復旧債＝自然災害で被災した公共施設の復旧のための借入金  
※特例地方債＝財源の不足を補うための借入金

### 図1 7年度一般会計 予算の執行状況



### 図2 市有財産

土地	59万634m <sup>2</sup> (学校・公園など)	建物	22万4372m <sup>2</sup> (学校・施設など)
出資による権利	1億2294万円 (昭島市育英会など)	貸付金	2億円 (土地開発公社)

### 図3 市民1人当たり・1世帯当たりの市税負担額、市民サービス費用、貯金、借金

市民1人当たり	10万6787円	市税負担額	21万1388円
市民サービス費用	18万4581円	市民サービス費用	36万5383円
貯金	17万7195円	貯金	35万761円
借金	13万5531円	借金	26万8287円

※7年9月30日現在の人口は11万5925人、世帯数は5万8562世帯です。

表3 7年度特別会計 予算の執行状況

会計名	予算現額	収入済額(収入率)	支出済額(執行率)
国民健康保険	121億4076万円	45億7358万円(37.7%)	41億2793万円(34.0%)
介護保険	103億8330万円	41億6539万円(40.1%)	42億5491万円(41.0%)
後期高齢者医療	32億8538万円	12億2741万円(37.4%)	10億4332万円(31.8%)
中神土地区画整理事業	6億3712万円	2億5224万円(39.6%)	1億9095万円(30.0%)
中神駅北側地域整備事業	15億2549万円	4億7663万円(31.2%)	3億2590万円(21.4%)
合計	279億7205万円	106億9525万円(38.2%)	99億4301万円(35.5%)

※中神土地区画整理事業は前年度からの繰越財源・繰越事業費(各2314万円)を含みます。

表4 水道事業・下水道事業の利用人口と有収水量

	7年度	6年度	前年度比
水道事業	給水人口 11万5925人	11万4940人	985人(0.9%増)
	給水世帯 5万8562世帯	5万7666世帯	896世帯(1.6%増)
	有収水量 609万6658m <sup>3</sup>	611万7596m <sup>3</sup>	△2万938m <sup>3</sup> (0.3%減)
下水道事業	接続人口 11万5288人	11万4286人	1002人(0.9%増)
	接続世帯 5万8244世帯	5万7343世帯	901世帯(1.6%増)
	有収水量 531万2475m <sup>3</sup>	534万2749m <sup>3</sup>	△3万274m <sup>3</sup> (0.6%減)

※有収水量とは、料金徴収の対象となる水量のことです。

表5 企業債(借入金)の現在高

	7年9月末	6年9月末	前年度比
下水道事業	現在高(元金) 26億8467万円	28億4282万円	△1億5815万円(5.6%減)
	接続人口1人当たり 2万3287円	2万4875円	△1588円(6.4%減)

※企業債とは、施設の建設や改良のために借り入れるお金のことです。

表6 経理の状況(消費税抜き)

	収益的収支		資本的収支	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	*営業収益 7億9535万円 水道料金による給水の収益など	*営業費用 3億1313万円 原水及び浄水費、配水及び給水費、設備修繕費、減価償却費など		*建設改良費 4807万円 水道を安定して使用するための工事(長寿命化、耐震化)などの費用
	*営業外収益 2481万円 預金利息、下水道使用料受託徴収収益など	*営業外費用 66万円 雨水貯留槽設置助成金など		
	合計 8億2016万円	合計 3億1379万円	合計 0円	合計 4807万円
下水道事業	*営業収益 7億2419万円 下水道使用料、雨水処理負担金など	*営業費用 2億5080万円 下水道管などの維持費、汚水処理負担金など	*企業債 9420万円 他会計補助金 5000万円 一般会計補助金 36万円	*建設改良費 2億946万円 下水道を安定して使用するための工事(污水管・雨水管整備)などの費用
	*営業外収益 1298万円 預金利息、一般会計補助金など	*営業外費用 1173万円 企業債の借り入れ利息など	*負担金等 受益者負担金	*企業債償還金 1億7122万円 企業債の元金
	*特別利益 301万円			*投資その他資産 211万円 基金積立金
	合計 7億4018万円	合計 2億6253万円	合計 1億4456万円	合計 3億8279万円

※収益的収支とは、水道料金・下水道使用料による収入や、水道・下水道の安全な利用に必要な経費のことです。

※資本的収支とは、施設の改良・設置のために必要な経費のことです。

※水道事業の資本的収支は前年度からの繰越事業費(3億5310万円)を含みます。

※下水道事業の資本的収支は前年度からの繰越財源(9420万円)・繰越事業費(1億4845万円)を含みます。

企業会計  
特別会計

水道事業・下水道事業は、複式簿記による公営企業会計で収支を管理している会計です。各会計の予算現額と歳入・歳出予算の執行状況は、表3のとおりです。

特別会計は、特定の事業を行う場合に、その運営や経理を明確にするため、一般会計から分離して収支を管理している会計です。各会計の予算現額と歳入・歳出予算の執行状況は、表4のとおりです。

複式簿記とは、ひとつの取り引きを原因と結果の二面から記録する会計方法です。複式簿記で、ひとつの取り引きを記録する会計方法です。

経営状況は、表4～6のとおりです。水道事業は新たな借入金はなく、下水道事業は、9420万円を借り入れ、償還金1億7122万円を支払いました。

以上の7年度上半期の財政の状況です。長らく物価高騰や猛暑への対策として、水道料金減免事業などを実施するため、補正予算を編成しました。

市税は非常に厳しい状況にあります。今後も市民サービスの維持向上のため、限られた財源を有効に活用し、適正な予算執行に努めます。

業などを実施するため、補正予算を編成しました。

市税は非常に厳しい状況にあります。今後も市民サービスの維持向上のため、限られた財源を有効に活用し、適正な予算執行に努めます。

業などを実施するため、補正予算を編成しました。

業などを実施するため、補正予算を編成しました。

業などを実施するため、補正予算を編成しました。

業などを実施するため、補正予算を編成しました。

業などを実施するため、補正予算を編成しました。

業などを実施するため、補正予算を編成しました。